

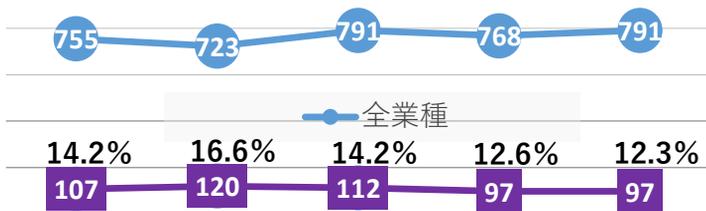
陸上貨物運送事業における労働災害防止

【陸上貨物運送事業における労働災害発生状況と対策の概要】

陸上貨物運送事業ではどのくらい災害が起きている？

立川労働基準監督署管内の陸上貨物運送事業(道路貨物運送業と貨物取扱業の合計)においては、毎年100人前後の方が休業(4日以上)を伴う労働災害で被災しています。

令和2年は前年比±0人でしたが、依然として全労働災害の12.3%を占める状況にあります(グラフ1)。



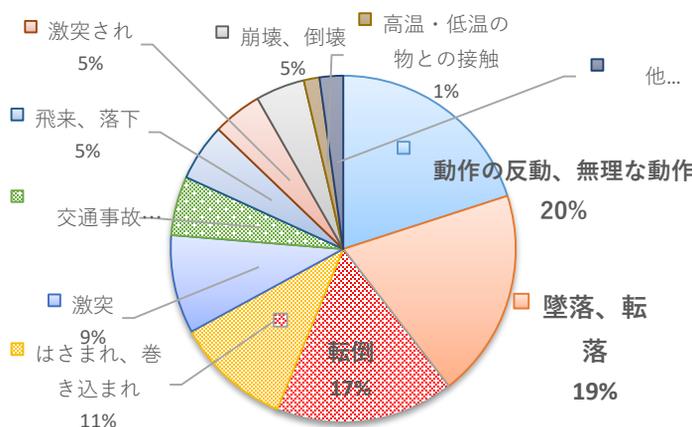
グラフ1 陸上貨物運送事業の労働災害発生状況(平成28年~令和2年)

どのような災害が起きている？

陸上貨物運送事業においては、次の3つの災害が多くなっています(グラフ2)。

- ①動作の反動、無理な動作 20%
- ②墜落、転落 19%
- ③転倒 17%

⇒荷役作業に関連するものが多くなっています！



グラフ2 事故の型別発生状況(平成28年~令和2年)

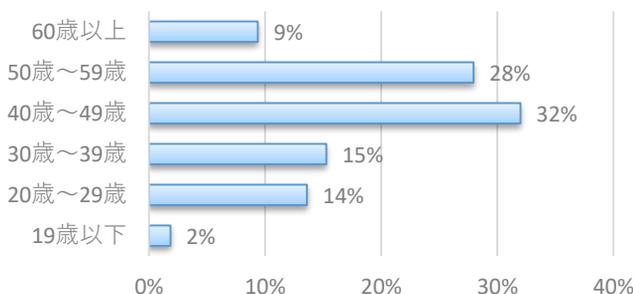
どのような年代・経験年数の人が被災している？

年代別(グラフ3)では、

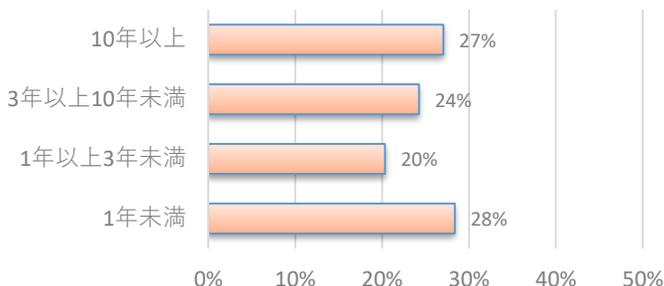
- ①40歳~49歳が32%で最も多い。
- ②50歳以上で37%

経験年数別(グラフ4)では、

- ①「1年未満」が28%で経験の浅いものが多く被災している。
- ②「10年以上」が27%と経験のあるものも多く被災している。



グラフ3 年代別発生状況(平成28年~令和2年)



グラフ4 経験年数別発生状況(平成28年~令和2年)

安全衛生自主点検結果について（抜粋）

令和2年度、当署管内で災害の多い業種を対象に「安全衛生自主点検」を実施し、陸上貨物運送事業は165事業場から回答がありました（回答率53.5%）。

1 「墜落・転落」「転倒」災害防止の取組状況	回答
荷台上での安全な作業	100% が「適」
荷台からの安全な昇降	98% が「適」
作業前の危険箇所の確認	98% が「適」
事業場内の安全通路の確保	95% が「適」

2 「はさまれ・巻き込まれ」災害防止の取組状況	回答
ロールボックスパレットの押し方・引き方周知	100% が「適」
ロールボックスパレットの安全な取扱い周知	100% が「適」
保護具（安全靴等）の使用	98% が「適」
フォークリフトの使用ルール周知	95% が「適」

3 「腰痛」災害防止の取組状況	回答
積み下ろし作業の自動化・省力化	79% が「適」 ※21%が未実施
可能な限り機械・器具を使用しての荷役作業	100% が「適」
荷の持ち上げ等作業姿勢等の教育	92% が「適」
荷役作業前の準備体操	76% が「適」 ※24%が未実施

4 荷役作業の安全対策の取組状況について	回答
荷役作業の安全対策ガイドラインを知っているか	93% が知っている
荷役災害防止の担当者を指名しているか	85% が指名している ※15%が未実施
荷役作業の安全教育を実施しているか	96% が教育している
未熟練労働者の安全衛生教育マニュアルを活用しているか	82% が活用している ※18%が未活用
荷主との連絡協議会を設置していますか	78% が設置している ※22%が未設置
荷主から安全作業指示書が作成されていますか	70% が作成している ※30%が未作成

5 安全衛生管理活動について	回答
安全意識の高揚	100%が取り組んでいる
自主的な安全衛生管理活動	93% が取り組んでいる
安全教育	96% が取り組んでいる
高齢労働者に配慮した職場づくりの推進	90% が取り組んでいる
外国人労働者に配慮した災害防止対策の推進	56% が取り組んでいる

※44%が未配慮

具体的な労働災害防止対策はどうすればよいの？

「転倒」災害防止のポイント

◇転倒の危険性（滑り、躓きなど）の把握・除去に努めましょう！

- 床面、通路は、くぼみ、段差がなく滑りにくい構造に！
- 通路、階段、出入口には物を放置しない！
- 台車などは決められた場所に！
- 通路は明るさ確保！

◇「4 S活動」（4 S：整理・整頓・清掃・清潔）を実施しましょう！

※通路、駐車場、事務所、厨房などに潜むリスクもチェック！

「荷役作業」に関する災害防止のポイント

<陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン>

陸運業における荷役作業での労働災害を防止するために、陸運事業者、荷主、配送先、元請事業者などが取り組むべき事項を具体的に示したもの

◇陸運事業者と荷主との連携

- ① 運送業者との協議の場の設置
- ② **安全作業連絡書**（荷役作業の有無、役割分担の通知）
- ③ 自社と他社の混在作業
- ④ 自社以外の者の安全対策（荷役作業、フォークリフト使用）



◇荷役作業の労災防止

<転倒>

- 耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用
- 荷役作業場所の整理整頓
- 荷役作業場所の段差解消
- 台車等の使用（荷物で手がふさがっていると転倒しやすくなるため）

<挟まれ、巻き込まれ>

- **ロールボックスパレット**の安全な取扱い
 - ・ 段差、傾斜部、テールゲートでの取扱い
 - ・ 安全靴、プロテクター等
 - ・ 押し方、引き方、運搬方法
 - ・ 積載作業時の視界の確保

<墜落・転落>

- 荷台上での作業
 - ・ 背を向けない
 - ・ 後ずさり、飛び降りない
 - ・ **テールゲートのストッパー**
- 階段を降りる際
 - ・ 踏み面を確認
 - ・ 急がない

<腰痛等>

- 腰に負担の少ない荷の取扱の徹底（**持ち方、姿勢**等）
- 小休止、ストレッチ等（長時間運転後の運搬時）
- 台車等の使用

◇安全衛生教育

◇ 労災防止の知識、安全最優先での荷役作業

- ・ 荷役作業の基本知識
- ・ **ガイドラインにある荷役作業の安全対策**

◇ 危険を感じる力の向上、資格の取得

- ・ 危険予知訓練
- ・ 作業指揮者への教育

トラックの荷台からの転落を防ぐために

陸上貨物運送事業における労働災害は、荷役作業中に発生したものがおよそ7割を占めており、特に荷台からの転落（荷台から降りるとき）が多くなっています。

荷台昇降設備・装備はありますか？

- ・ リヤとサイドにステップを付けて昇降性を向上させましょう！
- ・ ステップとグリップの合わせ技でがっちり3点指示にしましょう！



詳しくはこちら⇒

トラック 荷台 転落

検索

重大な災害事例に学ぶ災害防止ポイント～荷役5大災害チェックリストの活用～

実際に発生した重大な災害事例に着目し、陸上貨物運送事業における荷役災害等を防止するための安全対策のポイントをまとめています。

荷役5大災害（1.墜落・転落、2.荷崩れ、3.フォークリフト使用時の事故、4.無人暴走、5.後退時の事故）を防止するためのチェックリストを活用してください。



詳しくはこちら⇒

荷役作業 チェックリスト

検索

STOP！転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体は、労働災害のうちで最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。

6月は転倒災害防止の重点取組期間です！



通路及び置き場の区画

濡れやすい箇所にマット

滑りにくい靴（耐油）

詳しくはこちら⇒

STOP 転倒

検索

エイジフレンドリーガイドライン (高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)

厚生労働省では、令和2年3月に「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を策定しました。

働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場を目指しましょう。



エイジフレンドリー

検索